

展示No.	提案名	区分	分類			
福島県 9	電磁波シールドを可能とする 導電性樹脂の開発	樹脂成形 工法 塗装・樹脂成形	CASE 新規性 自動車業界初			
提案の狙い	□ 原価低減 ■ 質量低減 □ 生産(作業)性向上	□ 品質／性能向上 □ 安全／環境対策 ■ その他 (デザインフリー)	適用可能な製品/分野 ・帶電・静電防止、電磁波シールドを必要とする部品 ・上記部品の金属代替 ・塗装、フィルム、成形の形で適用可能			
従来	新技術・新工法					
電磁波シールドが必要とされる部品 従来は金属を使用。 シールド素材には導電性が必要 ○金属=導電性、×樹脂=絶縁性 しかし、軽量化からは ×金属=比重大、○樹脂=比重小 これまでの金属の代替方法には課題が多かった。			導電性樹脂を開発 従来の金属や金属・カーボンブラックを複合した樹脂と異なる、導電性樹脂を開発した。 塗料・フィルム・成形材料など様々な形で使用することができ、製品設計の自由度が向上する。			
比較項目	従来法					
	金属	樹脂 + 金属	樹脂 + 炭素粉	金属メッキ	ムネカタ 導電性樹脂	性状 形態 (液体状) 塗料・接着剤 (固体状) 樹脂ペレット ・フィラメント
導電(シールド) 性能	○	○	△	○	○	加工 方法 塗装
軽量化	×	×	○	○	○	成形加工
コスト	○	×	○	×	△	コーティング ・フィルム化
設計自由度	△	△	△	△	○	押出加工
汚染・劣化△	○	×	×	△	○	3D造形
セールスポイント(製造可能な精度/材質等)			問題点(課題)と対応方法			
・金属代替による軽量化が可能 ・塗料、フィルム、成形など様々な形で電磁波シールドが可能で製品デザインの自由度が拡大			・成形材料としては汎用樹脂に限定 スーパーエンプラなどの場合は、塗料やフィルムでの適用を推奨。			
開発進度	(2026年1月 現在)			パテント有無		
	開発完了段階			申請中		
従 来 比 較	コスト	品質	生産性	作業性	その他(デザインフリー)	
	—	50%低減 (対アルミ比)	—	—	製品設計の 自由度向上	

会社名	ムネカタ(株)	所在地	福島県福島市蓬莱町1丁目11番1号
連絡先		URL	: https://www.munekata.co.jp/
部署名: R&Dセンター		Tel No.	: 080-3547-1729
担当名: 加藤 肇		E-mail	: tkato_trd@munekata.co.jp
主要取引先		海外対応	
・トヨタ自動車(株) ・(株)デンソー ・(株)アイシン ・(株)豊田自動織機 ・トヨタ紡織(株)		□ 可	[生産拠点国] ■ 否